



# 井上 亮

INOUE Makoto

オリックス  
取締役兼代表執行役社長・グループCEO  
関経連副会長

## 事業活動を通じて 関西経済の発展に貢献を



このたび関経連の副会長を拝命し、ベンチャー・エコシステム委員会を担当することとなりました。松本会長、先任の副会長の皆さんにご指導いただきながら、微力ではありますが、関西経済発展のため、尽力してまいります。

オリックスグループは1964年に大阪で誕生した関西発祥の企業です。「リース」という新しい金融手法を日本に導入後、隣接分野に進出し、現在では法人金融、環境エネルギー、自動車関連ビジネス、不動産開発・運営、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。私の入社当時、従業員数は400人ほどでしたが、現在は世界28カ国・地域、約35,000人の従業員を擁する企業に成長しています。収益の約4割が海外事業によるもので、私自身も香港、ギリシャ、米国に赴任していました。

現在の注力事業分野の一つは再生可能エネルギーです。インドおよび欧州での太陽光発電や風力発電事業など、海外での事業投資にも力を入れています。国内では全国展開の中でも、力点はやはり大阪を中心とした関西地区に置いているといえるでしょう。1988年にはご縁があってプロ野球球団を持つことになり、2006年からは現在の京セラドーム大阪を、2012年からはオリックス劇場を運営することになりました。

オリックス・バファローズについては、長年我慢の時期があっただけに、一昨年のリーグ優勝、そして昨年のリーグ連覇、日本一については感慨深いものがありました。今まで「隠れファン」だった方々に、グッズを購入いただいたり、球場にお越しいただいたりと、素晴らしいプラスの連鎖が生まれています。また、優勝が選定理由の一つとなり、

今年の2月には、「関西財界セミナー賞」の大賞を受賞させていただくことができました。

2013年開業の「グランフロント大阪」に事業者として参画して以降、2016年には関西国際空港および大阪国際空港のコンセッション事業者として空港の運営をスタートし、現在、神戸空港を含めた関西3空港の運営を行っています。観光事業では、大阪のクロスホテル大阪やホテルユニバーサルポートをはじめ、全国でホテル・旅館運営を行っていますが、関西3空港を含めた「点」のビジネスを「面」のビジネスに広げながら、今後のシナジーへの期待と同時に関西経済の発展にも貢献したいと考えています。

関経連で担当するベンチャー・エコシステム委員会では、グループ会社である「オリックス・キャピタル」でのベンチャー投資事業の成功や失敗、グランフロント大阪でのナレッジキャピタルの運営で培った経験などが生かせるのではないかと考えています。リースなどのアセットビジネスに限らず、エクイティ投資の観点から、関西のポテンシャルのある企業を応援し、委員会に貢献していきたいと思っています。

2025年の大阪・関西万博に向け、関西国際空港は第1ターミナルのリノベーションを行っています。2024年にはうめきた2期地区の「グラングリーン大阪」が誕生します。また、夢洲でのMICE・IR事業については、大阪府・市と基本協定を締結しており、将来的に関西の発展に資する事業を展開していく所存です。

関西経済界の皆さんと一緒になり、これから関西の発展に貢献すべく取り組んでまいりたいと思っています。(談)